

## 2026 年度シラバス

科目分類/Subject Categories			
学部等/Faculty	/工芸科学部 : /School of Science and Technology	今年度開講/Availability	/有 : /Available
学域等/Field	/学芸員科目 : /Curator Certification Subjects	年次/Year	/3年次 : /3rd Year
課程等/Program	/:/	学期/Semester	/後学期 : /Second term
分類/Category	/:/	曜日時限/Day & Period	/集中 : /Intensive

科目情報/Course Information				
時間割番号 /Timetable Number	10924401			
科目番号 /Course Number	10969007			
単位数/Credits	2			
授業形態 /Course Type	講義 : Lecture			
クラス/Class				
授業科目名 /Course Title	デザインマネジメント : Design Management			
担当教員名 / Instructor(s)	/木谷 庸二 : KITANI Yoji			
その他/Other	インターンシップ実施科目 Internship	国際科学技術コース提供科目 IGP	PBL 実施科目 Project Based Learning	DX 活用科目 ICT Usage in Learning
	実務経験のある教員による科目 Practical Teacher			
科目ナンバリング /Numbering Code				

授業の目的・概要 Objectives and Outline of the Course	
日	デザインを経営資源として捉えるデザインマネジメントを通して、「デザイン」の活用方法を理解する。
英	

学習の到達目標 Learning Objectives	
日	デザインマネジメントの成り立ちの理解 経営戦略としてのデザインという視点の習得 消費者行動とデザインの関係把握 ブランディングについての理解 イノベーションとデザインの関係把握 デザイン組織形態のマネジメントとデザインの関係理解
英	

学習目標の達成度の評価基準 / Fulfillment of Course Goals (JABEE 関連科目のみ)	
日	
英	

授業計画項目 Course Plan			
No.		項目 Topics	内容 Content
1	日	授業の進め方解説	簡単なデザインマネジメントの解説と授業の進め方についての説明
	英		

2	日	デザインマネジメント概説	デザインマネジメントの成り立ちと主要なトピックス
	英		
3	日	デザイン史概観	デザインマネジメント発生に至るまでの「デザイン」の変化を、デザイン史を簡単に概観することで把握する
	英		
4	日	デザインのパラダイムシフト	社会環境の変化とデザインの変化を見ることでデザインのパラダイムシフトが如何に起こっているのかを見る
	英		
5	日	消費者行動とデザイン	顧客の消費者行動に影響を与えるデザインの考え方を認知、感情、メッセージ、関係性の視点で捉える
	英		
6	日	ブランディングを通じたデザインの差異化1	戦略資産としてのブランド
	英		
7	日	ブランディングを通じたデザインの差異化2	ブランド関係とロイヤルティ
	英		
8	日	ブランディングを通じたデザインの差異化3	ブランドのポジショニングとフレーミング
	英		
9	日	イノベーションとデザイン1	イノベーションのブランド化
	英		
10	日	イノベーションとデザイン2	イノベーション或いはイノベーションマネジメントにおける成功の主要要因
	英		
11	日	デザインと技術戦略	技術戦略に応じたデザインイノベーションの焦点
	英		
12	日	企業組織とデザインマネジメント	社内デザイン組織の類型と製品開発
	英		
13	日	自動車産業のデザインマネジメント	企業の事例紹介
	英		
14	日	電気産業のデザインマネジメント	企業の事例紹介
	英		
15	日	レポート作成と纏め	授業の総括とレポート作成
	英		

## 履修条件 Prerequisite(s)

日	
英	

## 授業時間外学習（予習・復習等）

## Required study time, Preparation and review

日	<p>3回に1回程度、授業時間中にレポートを作成してもらいます。レポート作成に際しては、下記に留意すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート作成時、他人の文章を引用する際は、引用箇所が明確にわかるように記載すると共に、出典を記載すること。</li> <li>・引用部分は誤字も含めて改変しないこと。</li> <li>・実験や調査結果のデータを、捏造や改ざんしないこと。</li> <li>・他人が作成したレポートを、自身が作成したとして提出しないこと。</li> </ul>
英	

## 教科書／参考書 Textbooks/Reference Books

日	
---	--

英	
---	--

成績評価の方法及び基準 Grading Policy	
日	授業内でのレポート作成、試験で評価する。尚、出席状況も勘案する。
英	

留意事項等 Point to consider	
日	
英	